

自転車 共通

品質保証書付
取扱説明書
JKTS 201511

この説明書・保証書は大切に保管してください。

自転車を安全で快適にご使用頂くために、必ずお読みください。



お子様やご高齢の方が自転車を使う場合は、事前に保護者の方が本書を必ず読んで、正しい乗り方と危険なこと、してはいけないことをよく指導してください。不適切な取り扱いや調整は人身事故につながる危険があります。警告・注意・禁止・強制事項は必ずお守りください。

This manual has important information on safety. Please have someone who can read Japanese to explain the contents in detail.

保証書について

- 保証書は、本書にとじられています。大切に保管してください。
- 保証書は、「販売年月日／販売店名／ロット番号／車体番号」などの記入を確かめて、お店からお受け取りください。
※ 販売店名の記入のあるもののみ有効となりますのでご注意ください。
- ※ 「ロット番号」の記入がもれている場合は、フレームに貼ってあるシールを見て、お客様ご自身で記入をお願い致します。

警告表示について

※警告表示は、危険性の程度に応じて次の区分で示しています。特にご注意ください。
※間違った取り扱いや調整は事故につながる危険があります。警告・禁止・注意・強制事項を必ずお守りください。



警告 : 取り扱いを誤った時に使用者が、死亡もしくは骨折などの重傷を負う可能性が想定されるもの。



禁止 : 危険の程度とは関係なく、道路交通法で禁止されている行為。または、当自転車の保証範囲外の行為。



注意 : 取り扱いを誤った時に使用者が障害を負う危険が想定されるとき及び、物的損害のみの発生が想定されるもの。



強制 : 使用者に必ず実行して頂きたい事。

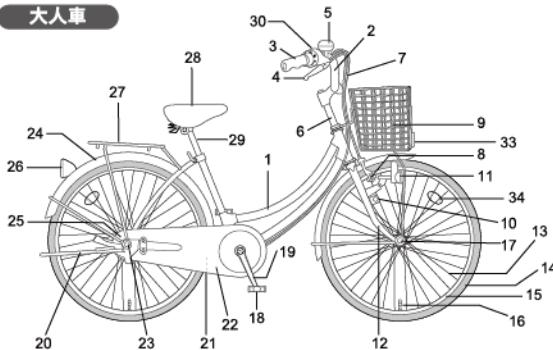
目次

■ 1) 各部のなまえ ----- P1	■ 6) お手入れと保管 ----- P10~11
■ 2) 正しい使用条件 ----- P1	■ 7) 防犯登録について ----- P11
■ 3) 安全のために必ずお守りください ----- P2~4	■ 8) 定期点検用チェックリスト ----- P11
■ 4) 各部の取り扱い方と調整方法 ----- P4~8	
■ 5) 乗る前の点検 ----- P8~10	

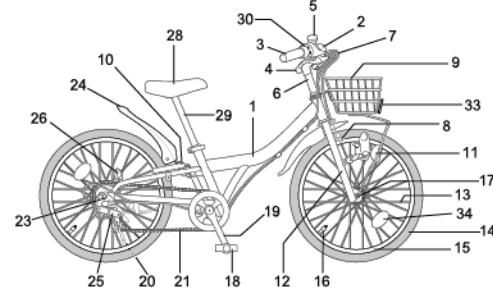
1) 各部のなまえ

※ここで説明する自転車は一般道路用の自転車です。凹凸の激しいオフロードは走行できません。※詳しくは、販売店でおたずねください。

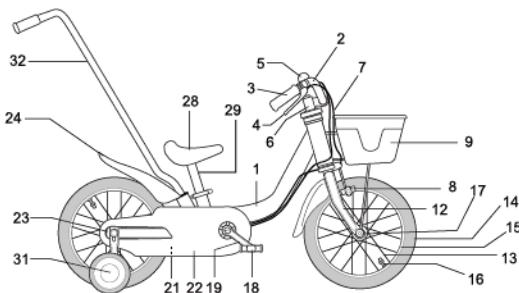
大人車



子供車 (20~24 インチ)



幼児車 (12~18 インチ)



No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	フレーム	13	スポーク	25	変速機
2	ハンドル	14	タイヤ	26	リアリフレクター
3	グリップ	15	リム	27	リアキャリア
4	ブレーキレバー	16	タイヤバルブ	28	サドル
5	ベル	17	フロントハブ	29	シートポスト
6	ハンドルシステム	18	ペダル	30	シフター
7	ブレーキワイヤ	19	ギアクランク	31	補助輪
8	ブレーキ	20	スタンド	32	押し手棒
9	カゴ	21	チェーン	33	フロントリフレクター
10	錠	22	チェーンケース	34	スパークリフレクター
11	ライト	23	リアハブ		
12	フロントフォーク	24	泥よけ		

2) 正しい使用条件

■最大積載質量…積載装置を備えた自転車の最大積載質量及び大きさ

リアキャリアの最大積載質量は、キャリアに表示された質量別クラスにより決められています。荷物を載せる時は、質量・大きさを守り、ズレたり、ひもが緩んだりしないよう注意してください。また、荷物がブレーキワイヤに接触したり、前照灯やリアリフレクターなどがかくれないように注意してください。

●リアキャリアの質量別クラスと積載質量

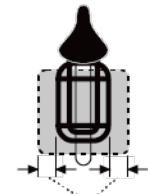
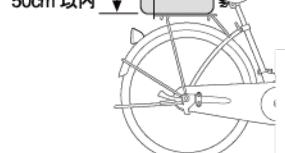
車種	大人車			子供車
質量別クラス	クラス 27	クラス 25	クラス 18	クラス 10
最大積載質量	27kgまでの荷物。 幼児座席の質量 と幼児座席の最 大適用体重の合 計が27kgまで。	25kgまでの荷物。 幼児座席の質量 と幼児座席の最 大適用体重の合 計が25kgまで。	18kgまでの荷物。 幼児用座席を取 り付ける事はで きません。	5kgまでの荷物。

*リアキャリアの質量別クラスはキャリアの本体、または、足に刻印、または、シール等で表示されています。

●カゴに載せられる荷物は5kg以下(子供車は2kg以下)

荷台から後ろへ15cm以内

高さ
50cm以内



荷台から左右各15cm以内

- ◆カゴ、リアキャリア以外の所に荷物を載せないでください。
- ◆大きな質量別クラスのリアキャリアを取り付けても、重い荷物を積載すると自転車の安定性を損なう場合があります。
- ◆質量別クラスを超える荷物は絶対に積まないでください。



*リアキャリアを後付けする場合は、取り付け出来る質量別クラスをご確認ください。また、取付可能なキャリアがわからない場合は販売店にご相談ください。

■標準常用速度及び標準乗員体重

スピードの出し過ぎは危険ですので安全速度を守ってください。

*乗員体重は、設計の際に想定した標準体重(質量)で、当製品は右記想定にて

基本設計をしております。従って基準を著しく超える方が常用された場合、消耗・劣化度合が大きくなりますので、品質保証致しかねることもあります。予めご了承ください。

車種	大人車	子供車 (20~24 インチ)	幼児車 (12~18 インチ)
常用速度 (km/h)	10~20	8~18	5~8
標準乗員体重 (kg)	65	40	20

■標準適応身長

身長に合った自転車の調整は、サドルにまたがり両足が地面に着くようにするのが適当です。サドルの高さを調整しても両足先が地面に着かないものや、足が余るようなものは正しい調整とはいえません。右の表を参考にサドルの高さを調整してください。わからない時は販売店に相談してください。



適正身長 (cm)	サドル地上高さ (cm)	適正身長 (cm)	サドル地上高さ (cm)
90	45	140	70
100	50	150	75
110	55	160	80
120	60	170	85
130	65	180	90

■走行の際、お子様は、必ず自転車用ヘルメットを着用するようにしてください。

道路交通法第63条の10より、「児童・幼児(13歳未満の者)を保護する責任のある者は、児童・幼児を自転車に乗車させるときは、自転車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません」と定められています。

3) 安全のために必ずお守りください [警告・注意事項]

お使いになる人や他人への危害、財産への損害と自転車の損傷を未然に防止するために、必ずお守り下さい。



警告 (守らなかった場合、死亡事故・重傷を負うおそれがあります。)



山岳、河川などでは絶対に使用しない

一般道路での使用を目的とするものであり、急坂登降、段差走行等、道路以外の場所(オフロード)を走行する事は禁止です。



二人乗りやアクロバット走行等をしない

二人乗りは法律で禁止されています。

ハブステップの取り付け、
二人乗りは禁止。



アクロバット的な
乗り方は禁止。



並走の禁止

二台以上で走行する時は一列に
並んで走行して下さい。



無灯火で乗らない

夜間、ご乗車の際は必ずライトを点灯してください。ライトの明かりは路面状態を見るのみでなく、他の車両や歩行者からの視認をしやすくする効果があります。



- ・ライトが装備されていない車種には別売のライトを取り付けてください。
- ・ライトがつかないときは、押して歩いてください。
- ・ライトが破損した場合はすぐに交換してください。



積載条件を超える荷物をカゴに積まない

荷物を積めるのは、カゴ・キャリアのみです。大きさ、重さは前頁の“正しい使用条件”を守つて積んでください。また、傘や釣り竿を車体に差し込んだり、吊り下げたりしないでください。車輪をロックさせたり、歩行者にケガをさせる恐れがあります。



ハンドルやサドルは限界標識線が見える所で固定しない

ハンドルやサドルは限界標識線が見える所で固定しないで下さい。
差し込みが不十分になると折れや抜けを起こし、事故・ケガのおそれがあります。



限界標識線



変形やひび割れ、ネジのゆるみ等、異常のある時は乗らない

フレームやフロントフォーク、クランクやペダル等の部品に変形やひび割れがある場合は絶対に乗らないで下さい。走行中に壊れて事故・ケガのおそれがあります。
異常のある部品は、すぐに交換して下さい。絶対に曲げ戻して修理をしないで下さい。



視界の悪い時は使用しない

無理に乗らずに、手で押して下さい。



凹凸の激しい所を走らない

ハンドルを取られたり、ぶらついたりする上、タイヤ・リムを損傷します。
自転車を降りて、押して歩いて下さい。



走行以外の事(踏み台等)に使用しない

転倒のおそれがあります。



スポークの間に固体物(ボール等)を入れて走らない

ボールが移動し、ブレーキ等に接触し、転倒のおそれがあります。



手やハンドルに荷物をかけたりペットをつながない

荷物やヒモが車輪に巻き込まれたり、バランスを崩して転倒し、ケガのおそれがあります。



強制! 荷物は前カゴに入れて下さい。



グリップがゆるんでいる場合は乗らない

ハンドルからグリップが取れると事故のおそれがあります。

グリップがゆるい場合は、自転車店等すぐに交換してください。



回転している部分には触れない

前後輪・ギアクランク・チェーン部が動いている時は、絶対に手、足で触れないで下さい。



ブレーキの制動面に注油しない

ブレーキに関係する箇所の内、リム・ブレーキゴム・後ろブレーキのドラム内等には、絶対に注油したり、油布等でふいたりしないで下さい。ブレーキがきかなくななり危険です。

(P10 参照)



指定箇所以外の調整、及び改造をしない

取扱説明書に記載されている、指定調整箇所以外の箇所を調整したり改造する事はやめて下さい。

不当な改造が起因とされる故障は保証の対象外となります。

※ハブステップの装着も危険な改造です。



片手運転は禁止

危険回避など、急な操作ができずに衝突や転倒するおそれがあります。



警告 (守らなかった場合、死亡事故・重傷を負うおそれがあります。)



交通ルールを守る

交通ルールを守らないと事故でケガをしたり、他の人にケガを負わせるおそれがあります。



走りながら足でダイナモライトの操作をしない

ライトは必ず停車し、手で操作してください。足での操作は足や靴が車輪に巻き込まれ転倒する恐れがあり危険です。



リフレクターは汚れていたり破損したまま乗らない

リフレクターは後続の車両からの確認をする上で大変重要です。汚れや損傷のない状態でご使用下さい。



クイックレバーの締め付けは保護者の方が確実に行なう

クイックリースのレバーやネジの締め付けがゆるいと、転倒、事故、ケガの恐れがあります。保護者の方がしっかりと固定してください。また、お子様に手を触れさせないようにしてください。手をはさんだりして事故・ケガの恐れがあります。



歩行者に危害を及ぼす恐れがある 突出物を装着しない

歩行者等に危害を及ぼす恐れがある突出物の装着を禁止します。傘やステッキ、釣竿、バット、たたき棒等の搭載はやめてください。また、ハブステップの装着も禁止です。車輪をロック(固定)させたり、歩行者にケガをさせる恐れがあります。



ぬれた道や下り坂では スピードを出さない

ブレーキが効きにくく、制動距離が長くなりかつ、スリップしやすいため思わず事故や転倒によるケガの恐れがあります。



幼児の夜間走行の禁止



飲酒運転の禁止



カゴにペットを乗せない



車輪やサドル・ハンドルの締め付けを確認せず に自転車に乗らない



カーブではスピードを出さない 曲がりきれずに思わず事故を招きます。



カーブではブレーキをかけない 横滑りを起こし、転倒する危険があります。



カーブで曲がる側のペダルを下げない



滑りやすい所では乗らない

積雪や、凍結した道、工事用の鉄板やぬかるみ等での運転はスリップ等をして大変危険です。自転車を降りて押して歩いて下さい。



スタンドを完全に跳ね上げて いない状態で乗らない

カーブの時スタンドが地面と接触し、転倒によるケガのおそれがあります。



走行中にブレーキワイヤーを引っぱったり、 曲げたりしない



乗る時は安全な服装で

マフラーや裾の長いスカートなど運転のしにくい服装はやめて下さい。滑りやすい靴やかかとの高い靴などを履いて乗らないで下さい。



雨、雪、強風の時は乗らない

悪天候の時、自転車に乗らないようにして下さい。特に、雨、雪の場合ブレーキが効きにくく、事故や転倒のおそれがあり危険です。



片側ブレーキはかけない

片手だけのブレーキ(特に前輪ブレーキ)をかけるとバランスをくずして転倒し、ケガのおそれがあります。必ず、前後両方のブレーキをかけて止まるようにして下さい。



急ブレーキをかけない

急ブレーキをかけるとスリップして転倒する危険があります。前方に注意して安全走行をして下さい。



滑りやすい靴やかかとの高い靴などを はいて乗らない

足がペダルから外れ、転倒によるケガの恐れがあります。



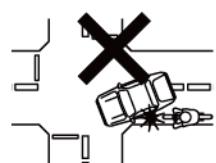
ギアチェンジ(シフト操作)は 一度に二段以上しない

一気にギアチェンジをするとチェーンが外れることがあります。一段ずつチェンジしましょう。



自動車の左折車に注意

車道の左側を走っている自転車が、左折する自動車に巻き込まれる事故がよく起きます。左折車には十分注意しましょう。



駐輪時の注意

- 駅前や商店街など自転車を乗って行った先で自転車を放置してはいけません。

- スタンドを立てる際は必ず平坦な場所を選んで立てて下さい。

- 自転車使用後は、ブレーキに手を触れないで下さい。

- 熱くなっている箇所がありますのでやけどのおそれがあります。

- 駐輪禁止の場所には駐輪しないで下さい。

- 盗難を防ぐため、カゴの荷物は必ず持つていって下さい。

- なるべく直射日光、雨等をさけて駐輪して下さい。

- 必ずカギをかけて下さい。



泥よけの取り扱いについて

泥よけに乗ったり、荷物を乗せたり、持ち運ぶ時に持つたり無理な力をかけると、変形、破損のおそれがあります。

乱暴な取り扱いはやめて下さい。



警告 (守らなかった場合、死亡事故・重傷を負うおそれがあります。)



衝突や転倒した時には

衝突や転倒をした際は、必ず自転車各部を点検して下さい。
異常がある場合は販売店に相談して下さい。



自動車の横を走り過ぎるときは スピードを出さない

自動車のドアが急に開き
衝突する危険があります。



ショルダーバッグ（1本ひものバッグ）を背 中に提げて自転車に乗る場合は、バッグが動 いて運転がしづらくなるので注意する

特にバッグのひもが長いと、バッグが自転車の後輪錠などに当たって誤動作する場合があります。



走行中、くつ先が前輪や前泥よけに接触しな いようにする。

前輪の回転により、足が巻き込まれて事故を起こす危険が
あります。また、泥よけ等の部品が破損するおそれがあり
ます。



食べたり飲んだりしながら乗らない

片手運転と前方不注意により、事故を起こすおそれがあります。



ヘッドフォンやイヤホンを使用しながら 乗らない

周囲の音が聞こえにくくなり、事故を起こすおそれがあります。



走りながら携帯電話や 音楽プレーヤーを かけたり、操作しない

片手運転と前方不注意により、
事故を起こすおそれがあります。



長い下り坂などでブレーキのかけっぱなし はしない

ブレーキの制動部が発熱して、ブレーキがきかなくなり、
衝突や転倒によるケガのおそれがあります。前後どちらか
のブレーキレバーを時々はなして発熱を抑えて下さい。特
にバンドブレーキやローラーブレーキは発熱しやすいので
ご注意下さい。



警告 前輪ロックに注意! <ブレーキのかけ方>



※前輪ロックとは、走行中に前輪の回転が瞬間に
急停止することです。衝突と同じくらいの衝撃が
あり、前のめりに頭から転倒し、大事故につなが
ります。必ず後ろブレーキを先にかけ、次に前ブ
レーキをかけるように習慣づけてください。



特に幼児には、保護者の方がブレーキレバーに
指がきちんとかかることを確認した上で、ブ
レーキ操作のやり方をくり返し教え、操作がで
きることを確認するようにしてください。

前輪がロックされる原因には以下のようないふたつの場合があります。
安全には十分注意して走行しましょう。

- ハンドルにぶら下げたバッグ等が、前輪や前輪と車体との間にに入った時。
- 前カゴに入れたバンドや細長いヒモ状のもの等が、前輪の間にに入った時。
- スピードを出していく、前ブレーキのみをかけた時。
- スポーク切れやその他の原因でリムが横揺れし、タイヤが車体に接触した時。

- ライトのダイナモを足先で蹴って倒すとき蹴って足を車輪の間に突っ込んだとき。又、そのときダイナモが車輪の間に入ったとき。
- 衝突などでフロントフォークが曲がっていたり、ネジがゆるんでいたりして、
ブレーキゴムがタイヤにあたった時。
- 外部からの異物が車輪の間に入り込んだ時。
- 前輪のネジがゆるんでいて、車輪が傾いてタイヤが車体に接触した時。

4) 各部の取り扱い方と調整方法



安全確保のため、調整はお子様には絶対にさせないようにして下さい。次の調整を確実に行い、正しい取り扱いをお願
いします。これを怠りますと、思わぬ事故につながります。ご不明な点がございましたら、お客様相談係かお買い求めの
販売店、お近くの自転車店等におたずね下さい。

正しい乗車姿勢

- 正常な乗車姿勢がとれるよう、ハンドルとサドルの高さを乗車する方の体格に合わせて
ください。疲れず、安全に走るには、正しい乗車姿勢をとることが基本です。サドルに座
り、両手をグリップにおいていた状態で、下記の点を確認してください。
- ※お子様がお使いになる場合は、成長に合わせて常に正しい状態で使用できるよう、保
護者の方が気をつけて調整してあげてください。

- ①両方の足先が確実に地面につくこと。
- ②上半身が少し前に傾き、ヒザが軽く曲ること。
- ③ペダルをこいだときヒザがハンドルに当たらず安全にハンドルの操縦操作ができるこ
と。
- ④円滑にペダルをこぐ事ができ、ブレーキ、ベル等が安全に操作できること。
- ⑤ハンドルのにぎり最上部と、サドルの座面中央部の高さの差が30cm未満になっていること。

